

緊急

葉色大きく低下！栄養が不足しています！ ただちに出穂前の穂肥・追肥を検討

- ・ 連日の高温で、2回目の穂肥後も、多くのほ場で葉色が大きく低下しています。
- ・ 気象庁では、8月上旬ごろに気温がかなり高いと予報しています。

1 7月29日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月7日)

区分		本年値	目標値 (カシダ [®] -生育目標比・差)	前年値 (前年値比・差)
葉色	SPAD	28.4	33.0 (-4.6)	32.8 (-4.4)
	葉色板	3.1	3.8 (-0.7)	3.7 (-0.6)

2 コシヒカリの管理ポイント

高温が続き、栄養不足の状態に登熟すると、未熟粒が多く発生します。ただちに葉色を確認し、出穂前の栄養確保に努めましょう。

(1) 一発肥料の場合：葉色低下で追肥を実施

葉色が低下しているほ場で、まだ追肥を実施していない場合は「出穂期10日前から5日前」に追肥を実施してください(葉色の目安はカラスケール3.3以下、SPAD値30以下)。

(2) 分施肥系の場合：3回目の穂肥を検討

2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3日前までに3回目の穂肥を検討する。(葉色の目安は上記一発肥料と同様)

参考・生育診断のポイント

- ・ 走り穂が見え始めた頃が出穂期の3～6日前ごろです。
- ・ 穂肥や追肥のタイミングが遅れると、米のタンパク質が高くなるので注意ください。(特に例年米のタンパク質が高い方は慎重に)
- ・ 判断に迷う場合は、JAや普及センターに御相談ください。